

下関市総合計画に定めた7つの柱に沿って、平成26年度の主な事業を紹介いたします。

1

情報があふれ、活動しやすい便利なまち
(都市基盤)

唐戸地区アメニティ施設整備事業(3500万円)

唐戸地区の公衆便所を改築し、唐戸の玄関口にふさわしい景観に配慮したアメニティ(快適な施設)として整備します。

総合交通戦略実態調査

道路交通と公共交通の在り方を検証し、自動車とそれ以外の交通手段の利便性向上、利用環境向上に向けた計画策定のための調査を行います。

コミュニティ放送局整備事業(4000万円)

コミュニティ放送が旧4町地域においても聴取可能となるよう民放事業者の電波送信所の整備費用を助成します。

2

人と自然にやさしく安全で安心して暮らせるまち
(自然環境・生活環境)

再生可能エネルギー賦存量等調査(333万円)

エネルギー賦存量(※1)・利用可能量の算出、エネルギー導入可能エリアの調査、送電網の基盤インフラの調査を行います。

※1:ある資源について、理論的に導き出された総量

夜間景観創出事業

(500万円)

JR下関駅前の建物の外壁を活用したプロジェクションマッピング(※2)により夜間景観を創出します。

※2:パソコンで作成したCGとプロジェクターの様な映写機器を用い、建物や物体、空間などに対して映像を映し出す技術の総称をいう



津波・高潮ハザードマップの作成(1715万円)

南海トラフ巨大地震による津波の影響を視野に、浸水想定区域、避難所、避難経路などを記載したハザードマップ(災害予測図)を作成します。

3

将来に希望をもって意欲的に働ける自立したまち(産業振興)

企業誘致アクションプラン策定(440万円)

企業誘致に当たり、特に重点的に取り組む分野を明確にし、戦略的な企業誘致方針を構築します。

就業支援コーディネーター事業(258万円)

労働行政関係機関との協議、調整を行うとともに、就職ガイダンス(案内)などを行います。

第二十五利丸モニュメント整備(3670万円)

捕鯨船「第二十五利丸」を解体し、その一部を活用して、あるかぼーとにモニュメント(記念碑)を設置します。



イメージ図

4

観光や交流から生まれる多彩で魅力あるまち
(観光振興)

火の山展望台基本計画の策定(288万円)

老朽化した火の山展望台の建て替えのための計画を策定します。



観光プロモーションDVDの製作(300万円)

旅行代理店などに対するプロモーション用に最新の観光情報を紹介するDVDを製作します。

高杉晋作関連施設 設の環境整備

高杉晋作の終焉しゆうえんの地の環境整備、療養の地の誘導、説明板設置など行います。



5

誰もが健康で、ふれあいを大切にした温かみのあるまち
(保健・医療・福祉)

健康診査(1億8543万円)

青年・壮年期からの生活習慣病の早期発見・早期治療を図るため、各種がん検診、肝炎ウイルス検査などを実施するとともに普及啓発を推進します。

6

地域の特色を活かしたまなびのまち
(教育・文化)

教育センター整備事業(4億2263万円)

教職員の資質・能力向上に不可欠な研修業務を合理的かつ集中的に実施することが可能な施設「教育センター」を教育委員会事務局と一体的に整備します。

重症化予防業務(4189万円)

レセプト(医療費計算書)データなどから医療費分析を行い、糖尿病などの慢性疾患が重症化する可能性のある被保険者へ保健指導を行います。

子ども・子育てコンシェルジュ(189万円)

「子ども未来部」創設に当たり、子育て関係の相談を受け、各種サービスの利用手続きの案内を行うコンシェルジュ(※3)を配置します。

新博物館整備事業(4億7230万円)

下関市立長府博物館の活動を継承発展させる歴史博物館を建設します。長府博物館については、新博物館活動の教育普及や学習支援の拠点として一体的に利用します。



イメージ図

イメージ図

学校給食支援ソフトの導入(463万円)

学校給食におけるアレルギー対策を強化するため、給食の献立作成を支援するソフトを導入します。



7

市民も企業も行政もみんなが担える元気なまち
(協働のまちづくり)

ふるさと納税で当地WAONカードの作製(47万円)

支払い金額の0.1%が本市へ寄附されるイオングループの電子マネーカードを作製します。

補助金検討委員会の設置(16万円)

補助金の見直しを行うため外部の有識者で構成する補助金検討委員会を設置します。